



関東学院大学

◆ リリースに関するお問合せ先 ◆

2015年6月22日

関東学院大学 広報室

TEL:045-786-7049

2030年 未来の住宅を提案 「エネマネハウス 2015」に、関東学院大学が挑戦 省エネルギーと快適さが共存する住宅を施工・展示へ

関東学院大学(本部:横浜市金沢区 学長:規矩大義)は、大学と企業が連携して将来の「ネットゼロエネルギー」を目指した住宅を提案するプログラム「エネマネハウス 2015」に挑戦します。関東学院大学の他に、今年度の同プログラムに採択されたのは、芝浦工業大学、山口大学、立命館大学、早稲田大学の4大学です。

エネマネハウスとは、経済産業省などが2014年度から実施している事業で、「学生が考える、将来の家」をテーマに、エネルギー、ライフ、アジアの観点から大学と建築関連企業が共同で将来の「ゼロエネルギー住宅」を提案するプロジェクトです。昨年度は、東京・東雲に5大学が提案したモデルハウスが建築・展示され、東京大学を代表とするチームが最優秀賞を獲得しました。

関東学院大学では、建築・環境学部の5研究室を中心として同事業に挑戦します。省エネルギーを実現するだけでなく、生活する人が「気持ちがいい」と感じられる2030年のすまいをデザインします。「『グリーンハット 2030』関東学院大学 ZEH プロジェクト」と名付けられた提案は、国外展開の可能性や、居住快適性などが評価され、一次審査を通過しました。今後は、関東学院大学の教員や学生とともに、16企業(現時点)の協力を得ながら事業を進めていきます。

今年度は、横浜市西区のみなとみらい21地区に各大学のモデルハウスが建築される予定。9月から10月にかけて学生も参加する建築工事を実施し、10月には一般向けの展示や省エネルギー性能の実証実験が行われます。

関東学院大学では、「エネマネハウス 2015」への参加を通じて、住宅建築を学生が実体験として学ぶ機会を設けるとともに、21世紀型の「環境」と「人」に配慮した住宅のあり方を提案します。

エネマネハウス 2015

施工期間：9月24日(木)～10月12日(月)(予定)

展示期間：(1)10月16日(金)～10月20日(火)(予定)

(2)10月30日(金)～11月1日(日)(予定)

展示場所：みなとみらい21地区57街区(横浜市西区高島1丁目付近)(予定)

プロジェクトチームの概要

関東学院大学：粕谷淳司研究室(統括・意匠)

大塚雅之研究室(水環境)

遠藤智行研究室(空気環境)

山口温研究室(光・熱環境)

神戸渡研究室(木質構造)

※ この他に、現時点で建築関連企業16社が協力予定です。

取材等に関わるお問合せ先

関東学院大学 広報室 安田智宏 鈴木敦 TEL.045-786-7049

横浜市金沢区六浦東1-50-1 kouhou@kanto-gakuin.ac.jp